

輝く灯台

旅先で北の地の海辺に立ち寄った。8月の下旬のこの日は天高く澄みきった快晴。思いもかけずそこには目映いばかりに光り輝く真っ白な灯台が起立していた。そこは断崖絶壁に位置し冷たく青い波頭の日本海が広がり灯台はサインを送るべくその向こうを見据えている。



海上保安庁デザイン灯台一覧HPより

これまでに幾つかの灯台に出会ってきたが、この時の色彩も加わりこの灯台の姿は実に毅然と、しまことに魅惑的であった。

プロポーションがいい。

下層部は安定した箱型に鉄の階段と手すり、その上に型を変えて円筒型、そして頂部は円錐型の屋根と。この形態は外観の形を先に考えて作ったものではなく、それぞれの機能に従って組み立てられたこの灯台の姿だ。

通常みられる灯台は地面からいきなり円筒形で立ち上がったシンプルな形が多い。

昔、灯台のある街に住んでいたことがある。

工事中友達と見に行ったとき丁度光源部に使用するレンズが搬入され取り付けの準備をしている最中であった。そのレンズが厚く大きいことに吃驚ことを思い出す。この灯台は箱形の上に短い円筒部が突出した形態で味気ない形だった。

しかし、夕日が沈むと光が灯り海面を照らしている風景を見ると今日もまた・・・、と思った記憶がある。



「灯台巡り」のHPより